

# MSA

マネジメントシステム評価センター  
MANAGEMENT SYSTEM ASSESSMENT CENTER



## Annual Report 2018

2018年度 年次事業報告書

## ご挨拶：アニュアルレポート発行にあたり

MSAは1996年設立以来、20数年にわたり、適合性評価を主要事業として実施してきました。

適合性評価は、依頼者である企業様の活動/製品/サービスを第三者として審査し、特定の要求事項（ISO規格や製品基準など）や法的要求事項などに基づいて評価することです。

そして、適合に関する情報を“認証”という形で提供していますが、その目的は企業様とそのユーザー、そして一般の方々にまで社会に広く、信頼を提供することです。

しかし、近年、様々な事業の成果として提供された活動/製品/サービスの品質について、その信頼性に関する問題がクローズアップされています。

認証機関として、これらの問題に真摯に向き合うことが重要と考え、組織の内部監査機能を高めるための教宣活動の他、審査技術の向上、適正確保に向け、一層取り組んでまいります。これらの取り組みの一環として、この度、MSAの活動について理解を深めていただくとともに、一認証機関、ひいては認証制度の透明性の向上のため、アニュアルレポートを発行することといたしました。

このような活動を通じ、MSAは、MSAのお客様だけではなく、認証情報を利用される一般の方々、行政機関など、あらゆるステークホルダーからの信頼を得られるよう努めてまいります。

社員及び審査員一人ひとりがこの原点に立ち、今後も尽力してまいりますので、これからもご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



2019年6月

株式会社 マネジメントシステム評価センター  
代表取締役社長 藤井 信二

### — 目 次 —

- I. MSA 設立の経緯
- II. 沿革
- III. 経営理念
- IV. 経営方針
- V. 事業内容
- VI. 2018～2020年度中期計画
- VII. 事業報告
  - 1. 事業の概要
    - 1) マネジメントシステム認証
    - 2) JIS 製品認証
    - 3) 認証活動の特徴と評価
      - ① 公平性・信頼性
      - ② お客様満足度
      - ③ コミュニケーション
      - ④ 審査員教育
  - 2. 2018年度の新しい取り組み
    - 1) ISO 55001 の JAB 認定取得と普及展開
    - 2) ISO 45001 の認証活動
    - 3) ISO 41001 の認証
    - 4) ISO 9001 活用モデル工事
    - 5) 説明会/セミナーの開催
    - 6) 地域社会貢献
  - 3. 2019年度の活動方針
  - 4. 事業実績と財務情報
    - 1) 事業実績推移
    - 2) 財務情報
    - 3) 取締役及び監査役
    - 4) 会社概要

## I. MSA設立の経緯

経済のグローバル化に伴い、品質保証の国際規格である ISO 9000 シリーズが国際的注目を集め、日本でも 1991 年に ISO 9000 シリーズの翻訳規格として JIS Z 9900 シリーズが制定されました。さらに、1993 年 11 月に「日本適合性認定協会」が設立され、品質システム登録制度による認証取得がさまざまな業界において急速に普及しました。

一方、建設業界では、1995 年 1 月 17 日の阪神淡路大震災、当時の建設省・農水省・運輸省を事務局として設立された「公共工事の品質に関する委員会」による 1996 年 1 月の答申、同年に発効された WTO 政府調達協定による公共工事の国際的な競争機会の増大などを背景に、建設物の品質保証への関心が高まると共に、ISO 9000 シリーズによる品質システムの認証取得が急速に進展していきました。

ところが、当時は建設業を専門とする審査認証機関及び審査員研修機関が無かったため、建設業に詳しい審査認証機関及び審査員研修機関の早急な整備が国や業界団体から望まれていました。

これを受けて、1996 年 4 月から当時の社団法人日本建設業団体連合会（現（一社））で審査認証機関設立検討部会が開催され、同年 9 月 20 日に株式会社マネジメントシステム評価センター（MSA）が以下の協会等の会員様のご支援を受けて設立されました。

（財）エンジニアリング振興協会／（社）建設コンサルタンツ協会／  
（社）セメント協会／（社）全国銀行協会／  
（社）全国建設業協会／電機事業連合会／（社）日本ガス協会／  
（社）日本橋梁建設協会／（社）日本建設業団体連合会／  
（社）日本損害保険協会／（社）日本鉄鋼連盟／保証事業会社協会  
（社）プレストレスト・コンクリート建設業協会

（名称は設立当時のまま）

## II. 沿革

- 1996 年 マネジメントシステム評価センター（MSA）設立
- 1997 年 品質マネジメントシステム（ISO 9001）認証機関として（財）日本適合性認定協（JAB）  
（現：（公財））より認定を受ける
- 1999 年 環境マネジメントシステム（ISO 14001）認証機関として（財）日本適合性認定協（JAB）  
（現：（公財））より認定を受ける
- 2002 年 労働安全衛生マネジメントシステム（OHSAS 18001）の認証業務開始
- 2005 年 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証機関として（財）日本情報処理開  
発協会（現：情報マネジメントシステム認定センター（ISMS-AC））より認定を受ける
- 2006 年 日本工業規格（JIS）製品認証制度の認証機関として経済産業省より認定を受ける
- 2018 年 アセットマネジメントシステム（ISO 55001）認証機関として（公財）日本適合性認  
定協会（JAB）より認定を受ける  
労働安全衛生マネジメントシステム（ISO 45001）の認証業務開始

### Ⅲ. 経営理念

MSA は、第三者評価機関として、信頼性の高い認証/検証活動を通じ、国内外の標準類を正しく普及させることなどにより、社会の発展に貢献します。

### Ⅳ. 経営方針

MSA は、業務の遂行にあたり、公平性、透明性及び順法性を確保し、社会、組織及び MSA の満足を実現します。

#### 【社会の満足】

適正な審査認証/検証により、社会の期待に応えられる認証/検証組織を増やし、第三者評価制度の信頼性の向上に努めます。

#### 【組織の満足】

技術とノウハウを活かし、ニーズに対応した質の高い審査/検証及びサービスを提供します。

#### 【MSA の満足】

活力ある企業風土を醸成し、自ら研鑽を積むとともに、誇りを持てる働きがいのある職場を目指します。

### Ⅴ. 事業内容

5 種類の ISO 認証と 4 種類の JIS 製品認証を主な事業として推進しています。

<b>QMS</b> 品質マネジメントシステム JIS Q 9001 (ISO 9001)	品質マネジメントシステムは、組織が提供する品質マネジメントシステムの継続的改善を図り、顧客満足度を向上させる仕組みで、PDCA サイクルの考え方のベースとなります。
<b>EMS</b> 環境マネジメントシステム JIS Q 14001 (ISO 14001)	環境マネジメントシステムは、事業活動と環境の調和に配慮しながら、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る仕組みです。経営活動の中に組み込むことにより、環境負荷の低減、環境リスクの防止及び環境配慮型製品の開発などに役立ちます。
<b>OHSMS</b> 労働安全衛生マネジメントシステム JIS Q 45001 (ISO 45001)/OHSAS 18001	労働安全衛生マネジメントシステムは、労務に關係する損傷及び疾病を防止し、労働安全衛生パフォーマンスの継続的な改善を図る仕組みです。
<b>ISMS</b> 情報セキュリティマネジメントシステム JIS Q 27001 (ISO/IEC 27001)	情報セキュリティマネジメントシステムは、高度化する情報技術等に対応し、重要な情報資産を保護する仕組みです。組織のあらゆるリスクを評価し、適切な対応を取り、PDCA サイクルにより、継続的な維持・改善を推進します。クラウド化された情報資産にも適用可能です。
<b>AMS</b> アセットマネジメントシステム JIS Q 55001 (ISO 55001)	アセットマネジメントシステムは、組織の資産（アセット）のライフサイクルを通して、コスト、リスク、パフォーマンスのバランスに重点をおき、戦略的に計画を立てて、価値を生み出し、費用効果の高い維持管理を行うための仕組みです。
<b>JIS</b> 製品認証 JIS A 5308 JIS A 5371 JIS A 5372 JIS A 5373	JIS 製品認証は、法令・主務省令・JIS 規格に基づき、レディーミクストコンクリート及びプレキャストコンクリート製品を認証する仕組みです。審査の基準には (A) 及び (B) があります。特に (B) は JIS Q 9001 の認証を受けていることが必要となります。

## VI. 2018～2020 年度中期計画

- 3つの経営方針の柱（「社会の満足」「組織の満足」「MSA の満足」）に対する3か年（2018～2020 年度）の事業目標を定め、目標達成のための施策を掲げています。
- それを支える施策として、ISO マネジメントシステムの普及・発展の使命を担う認証機関として、自ら業務プロセスと事業内容の継続的改善に取り組むこととしています。

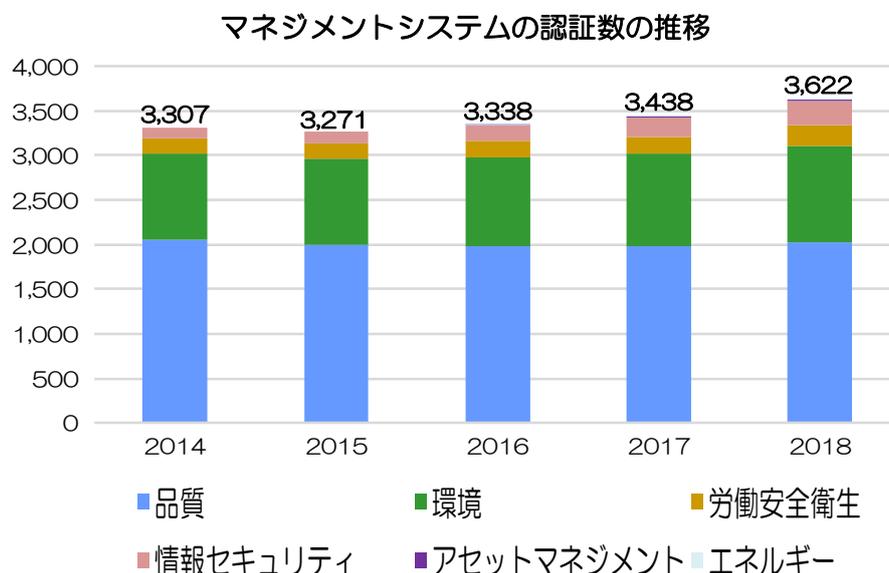
経営方針	目標	3年後の事業目標達成のための施策
I. 社会の満足 【信頼される MSA】	一層広く社会から 信頼される会社	I-1 社会の変化とニーズ、株主等の期待に対応できる事業基盤を確立し、事業展開してゆく。 I-2 ISO マネジメントシステムを普及・発展させる使命を果たすため、自らが戦略的に業務プロセス・事業内容の継続的改善に取り組む。 I-3 アニュアルレポートを発行し中身を充実させ社会への貢献をアピールする。
II. 組織の満足 【選ばれる MSA】	組織満足度の向上	II-1 組織満足の更なる向上を図る。 II-2 組織とのコミュニケーションを充実する。 II-3 建設業界 No.1 にふさわしい MSA ブランドを確立してゆく。
III. MSA の満足 【活力ある MSA】	働き方改革とワークライフバランスの実現	III-1 生産性向上と基幹システムの再構築を行う。 III-2 人財を確保する。 III-3 人事評価制度の見直しを行う。

## Ⅶ. 事業報告（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

### 1. 事業の概要

#### 1) マネジメントシステム認証

2018年度のマネジメントシステムの認証件数累計は前年度比184件増の3,622件となりました。



#### 2) JIS 製品認証

MSAは、レディーミクストコンクリート及びプレキャストコンクリート製品のJIS製品認証を行っています。2018年11月に経済産業省 関東経済産業局による認証機関としての登録の更新審査を受けました。

2019年3月末時点での認証件数は下表のとおりです。

種別	認証件数
レディーミクストコンクリート	143件
プレキャストコンクリート製品	65件
合計	208件

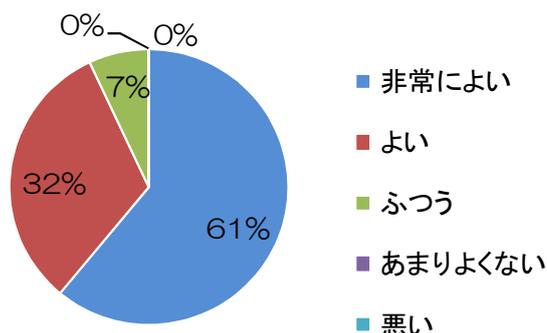
#### 3) 認証活動の特徴と評価

##### ①公平性・信頼性

MSAは認証活動の方針として、審査認証サービスにおける公平性の重要性を認識し、利害抵触を管理し、客観性を確保した信頼のおける認証活動を実施しています。MSAの審査では、依頼者の認証範囲に適切な力量、経歴、専門性、地域及び利害抵触等を考慮して審査チームを選定し、審査部長の確認を受け、依頼者の同意を得た上で決定します。審査チームの報告書は審査部がレビューの上、判定委員会/認証決定会議に提出/報告され、認証等が決定されます。なお、判定委員は学識経験者/第三者、製造者/供給者、審査経験者などの分野から、①マネジメントシステム審査認証業務に精通している、②担当するシステムに関係した公的資格を保有又はそれに相当する力量を有するなどの要件を満たすメンバーで構成されています。

## ②お客様満足度

MSAは審査修了後に、審査に対するお客様アンケートを実施しています。2018年1月～10月に実施した審査でのアンケート回答率は68%（品質・環境・安全・情報を含む全審査総数3,060件、回答件数2,084件）でした。アンケートの内容は、審査全般について7項目、審査員について6項目あり、右記の5段階で評価頂いております。結果は、「非常によい」または「よい」の回答が93%で、高い評価を頂いております。「あまりよくない」「悪い」という評価につきましては、理由を調査し、審査の改善に役立てています。



お客様満足度評価結果

## ③コミュニケーション

MSAはお客様など外部とのコミュニケーションを大切にしています。ホームページからも気軽にお問い合わせができるようにしています。また、異議申立て・苦情の手順も開示し異議申立て・苦情届出書の帳票がダウンロードできるようになっています。2018年4月～2019年2月末時点で70件のお問い合わせを受付けております。



異議申立て・苦情受付のホームページ

## ④審査員教育

MSAには、2019年3月1日現在、251名（品質237名、環境197名、労働安全衛生86名、情報33名、アセット21名）の審査員がいます。建設業出身者の審査員が多く、建設業に強みを持っています。

MSAの審査員は高い専門知識と豊富な審査経験により、お客様のマネジメントシステムの改善、ひいては経営に役に立つ審査を心がけています。そのために、MSAは充実した審査員教育を実施しています。導入教育、格上げ教育、年度研修、審査技術研究会、などを通じて審査員の力量の向上、維持に努めています。



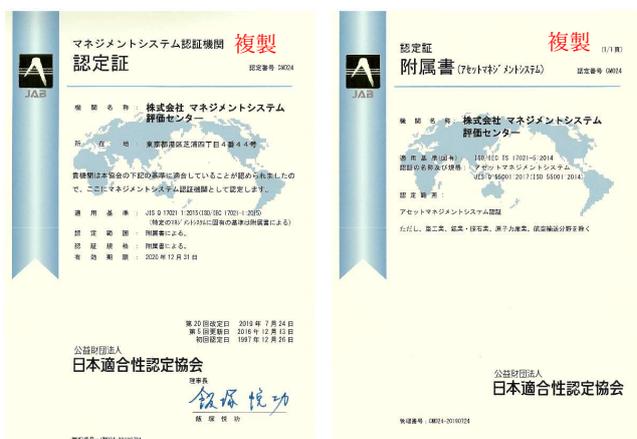
審査員年度研修の様子

## 2. 2018年度の新しい取り組み

### 1) ISO 55001 の JAB 認定取得と普及展開

アセットマネジメントシステムの国際規格 ISO 55001 (JIS Q 55001) について、公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB) から認証機関として認定されました。MSA では 2016 年から ISO 55001 の審査/認証活動を実施し、これまでに 16 組織を認証しています。インフラの老朽化や PPP/PFI 事業の拡大などを背景に我が国でもアセットマネジメントシステムの重要性は高まっており、今後も認証件数が増加していくと考えられます。

MSA は ISO 55001 シリーズのセミナーを 10 回開催し、認証取得を目指しているお客様等に対して同規格の理解を深めて頂きました。また、認証取得済みまたはこれから認証を希望しているお客様を対象に交流会を 2 回開催し、アセットマネジメントシステムの普及に努めました。更に、MSA は一般社団法人日本アセットマネジメント協会の事務局を担っており、各種委員会、講演会、セミナー、CAMA 試験等の幅広い活動を通じてアセットの普及展開に尽力しています。



2018年7月12日 アセットマネジメントシステム JAB 認定取得



2018年9月20日 JAAM 講演会 (大阪エルセラホール)

### 2) ISO 45001 の認証活動

労働安全衛生マネジメントシステム (OHSMS) の国際規格 ISO 45001 が 2018 年 3 月 12 日に発行されました。多くの国で普及している OHSAS 18001 を継承しつつ、ISO 9001/14001 と同じ章立てで構成されているため、他のマネジメントシステムとの統合や、我が国独自の労働安全衛生上の法体系の順守/対応なども容易に行える構造となっています。なお、高速道路会社や鹿児島県で ISO 45001 の認証取得を総合評価における加点対象としており、ISO 45001 の認証取得はますます増加していくと考えられます。

### 3) ISO 41001 の認証

「ファシリティ」とは、「人のニーズに役立つために建設され、整備され、また設立された資産の一群」であり、土地、建物、構築物、設備等を意味しています。このファシリティマネジメントの国際規格が ISO 41001 で、2018 年 4 月 23 日に発行され、現在 JIS 化に向けた取り組みが始まっています。ISO 41001 は ISO 55001 と関連性が高く、建築分野でも注目度が高いことから、弊社では今年度より認証活動を実施する計画です。

#### 4) ISO 9001 活用モデル工事

国土交通省は平成 29 年 11 月 15 日付文書「ISO 9001 活用モデル工事の試行について」を発行し、公共工事の更なる品質向上と発注者の監督業務の効率化を目的とした ISO 9001 活用モデル工事に着手しました。MSA は 3 件の ISO 活用モデル工事の文書監査、施工中監査などを実施し、今後とも実績を積み上げていく計画です。



【工事名】H30 佐波堤防強化工事  
【施工会社】株木建設株式会社様  
2019 年 2 月 第 1 回目施行中監査の状況



【工事名】西脇北バイパス津万井トンネル工事  
【施工会社】五洋建設株式会社様  
2019 年 1 月 第 2 回目施工中監査の状況

#### 5) 説明会/セミナーの開催

##### ①内部監査説明会

ISO 9001 等の要求事項に内部監査がありますが、審査対応で実施せざるを得ないものの、実務から離れて形骸化しているケースが見受けられます。このような内部監査の現状を見直し、有効な監査とすることを目的に、ISO 事務局ご担当者様を対象に説明会（無料）を開催しています。2018 年度は MSA 本社で 5 回開催しました。2019 年度より全国各地でも開催します。



MSA 本社での内部監査説明会の様子

## ②規格セミナー

お客様のご要望により、個別に規格の説明会/セミナーも実施しています。ISO 27001（情報セキュリティ）、ISO 27017（ISMSクラウドセキュリティ）、ISO 45001（労働安全衛生）、JIS 製品認証について、規格セミナーを開催しました。



労働安全衛生マネジメントシステム規格セミナーの様子

## 6) 地域社会貢献

MSAは、東京都港区とアドプト・プログラム協定を締結し、地域の共有財産である道路、公園等の緑化活動や清掃を行い、道路、公園等への愛着心を深め、利用者のマナー向上と清潔で快適な街づくりを推進するものです。具体的には、2018年度より毎月1回、MSA本社の前面道路の歩道および植込の清掃を実施しています。



本社屋前道路清掃の様子

## 3. 2019年度の活動方針

マネジメントシステム認証の事業環境は依然厳しい状況で、更なる認証機関の選別・淘汰、競争の激化が見込まれています。2018年度に策定した中期経営計画に則り、各種施策を推進していますが、2019年度も引き続き各種施策を継続実施し、継続的改善を推進するとともに強固な事業基盤の確立に向けて取り組んでまいります。

2019年度は内部マネジメントの強化を重視し、特に以下の施策に注力します。

### ① 中期計画Ⅱ-1 組織満足度の更なる向上を図る

実施項目：MSA（社員、審査員、審査内容等）に対する組織満足度の分析・評価方法を検討し、具体化する。

### ②中期計画Ⅱ-2 組織とのコミュニケーションを充実する

実施項目：組織と審査員をランク付けし、組織の成熟度に応じた審査員を配員する。

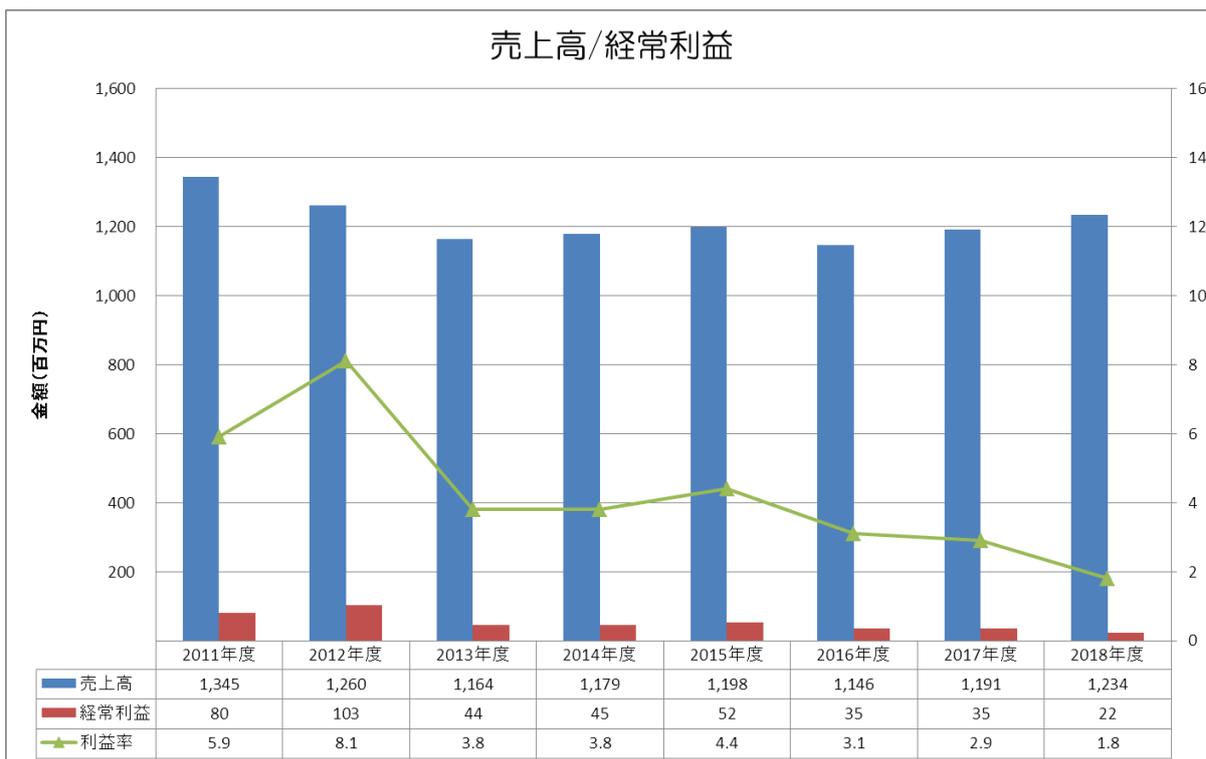
実施項目：一定以上の組織については、社内の対応窓口を決め、関係部署が連携して顧客対応のワンストップ化を図る。（カスタマーサポートセンター構想の具体化）

### ② 中期計画Ⅱ-3 建設業 No.1 にふさわしいMSAブランドを確立していく

実施項目：審査員能力評価方法を見直し、審査員のランクに応じた教育訓練を充実させる。

#### 4. 事業実績と財務情報

##### 1) 事業実績の推移（2011年度～2018年度）



##### 2) 財務情報

##### 第23期（2018年度）決算

貸借対照表の要旨（2019年3月31日現在）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
流動資産	1,419,013	流動負債	141,939
固定資産	264,043	固定負債	39,267
有形固定資産	9,926	<b>負債合計</b>	<b>181,206</b>
無形固定資産	10,603	株主資本	1,501,850
投資その他の資産	243,514	資本金	122,500
		利益剰余金	1,379,350
		（利益準備金）	23,275
		（その他利益剰余金）	1,356,075
		（うち当期純利益）	2,737
		<b>純資産合計</b>	<b>1,501,850</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,683,056</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,683,056</b>

### 3) 取締役及び監査役

(2019年5月現在)

	氏名	地位及び担当	重要な兼職の状況
取締役	藤井 信二	代表取締役社長 総務・登録・IT管理担当兼事業推進部長	—
	戸谷 有一	専務取締役 企画・製品認証・アセット担当兼管理責任者 (製品認証)	—
	黒田 良弥	取締役 マネジメントシステム認証・品質管理担当	—
	伊藤 淳	取締役(非常勤)	一般社団法人全国建設業協会 専務理事
	木村 昌司	取締役(非常勤)	一般社団法人日本建設業連合会 専務理事
	高橋 徹	取締役(非常勤)	東日本建設業保証(株) 専務取締役
監査役	新井 嵩男	監査役(非常勤)	元取締役(総務担当) 元前田建設工業(株)東関東支店長
	山本 亘	監査役(非常勤)	一般社団法人日本建設業連合会 常務執行役

### 4) 会社概要

設立	:	1996年9月20日
資本金	:	1億2,250万円
従業員	:	75名
所在地	本社/関東支社	: 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル
	関西支社	: 大阪市中央区谷町2-7-4 谷町スリースリースビル
	札幌営業所	: 札幌市中央区南3条西8丁目2-1 SAKURA-S3 S室
	東北営業所	: 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル 1F
拠点	北陸営業所	: 新潟市中央区天神1-1 プラーカ3 2F HUB STATION KENTO 内
	中部営業所	: 名古屋市中村区名駅4-25-17 三喜ビル 6F
	九州営業所	: 福岡市博多区博多駅前3-6-12 オ又キ博多駅前ビル507号室